理科学習指導案

実　施　日　平成 23 年 8 月 31 日
実施クラス　　１年４組(４校時)
授　業　者　　夜　久　嘉　子

1　指導単元

２　身のまわりの物質　　第１章　身のまわりの物質とその性質

2　授業改善のポイント（言語活動の充実の観点から）

・生徒同士で意見を交換する時間を持ち、その意見を発表する機会を作る。

3　本時の授業

（１）本時のねらい

① 物体と物質の違いを理解し、説明することができる。

② 物質を区別するには、その物質の性質を調べることが手がかりになることを見いだすことができる。

（２）本時の展開

	学習内容	教師の働きかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点（評価）
導入	・身のまわりにはさまざまなものがあることを確認し、それらを区別するにはどのような観点があるか考える。	・発問する。 ・ごみの分別を例に出す。	・思いついたものを発表する。 ・自分の経験から思い出そうとする。	・積極的に発言できているか。
展開	・物質と物体の違いを理解する。 ・物質を区別するにはどうすればよいか考えさせる。	・例をいくつか提示し、板書する。 ・生徒同士の話し合いがスムーズにいくように机間巡視する。 ・いくつかのグループを指定し発表させる。	・板書をノートにとる。 ・お互いの意見を交換し合う。 ・積極的に発言しようとするグループとそうでないグループがある。	・話し合いの結果を各自でプリントにまとめられているか。
まとめ	・物質を区別する方法には様々なものがあることを知る。	・まとめを板書する。	・板書をノートにとる。	